

一般会計の歳入歳出の総額は、歳入 61 億 2,279 万円、歳出 60 億 8,305 万円となり、形式収支は 3,974 万円、翌年度に繰り越すべき財源 1,161 万円を差し引いた実質収支も 2,813 万円の黒字決算となりました。

平成30年度に比べ、歳入は 4 億 3,529 万円増、歳出は 4 億 8,416 万円増と歳入歳出ともに増加しました。主な要因は、公債費の増加であり、実質公債費比率抑制のため繰上償還 5 億 8,490 万円を行い、その財源として減債基金 5 億円を取崩しています。

## 財政健全化指標

指 標	平成 30 年度	令和元年度	早期健全化基準	財政再生基準	経営健全化基準
実質赤字比率	黒字のため生じない	黒字のため生じない	15.0%	20.0%	-
連結実質赤字比率	黒字のため生じない	黒字のため生じない	20.0%	30.0%	-
実質公債費比率	11.8%	13.1%	25.0%	35.0%	-
将来負担比率	87.2%	83.7%	350.0%	-	-
資金不足比率	黒字のため生じない	黒字のため生じない	-	-	20.0%

## 町債（公債費）残高

会計名	平成 30 年度	令和元年度
一般会計	118 億 883 万円	114 億 4,203 万円
浦郷診療所	983 万円	1,216 万円
簡易水道事業	7 億 2,579 万円	7 億 4,609 万円
下水道事業	11 億 9,842 万円	11 億 4,914 万円
合 計	137 億 4,287 万円	133 億 4,942 万円

## 基金残高

基金名	平成 30 年度	令和元年度
財政調整基金	9 億 3,699 万円	9 億 4,460 万円
減債基金	8 億 6,581 万円	3 億 9,615 万円
庁舎建設基金	4 億 4,098 万円	4 億 848 万円
国保関連基金	4,580 万円	4,065 万円
その他基金	1 億 4,579 万円	1 億 5,102 万円
合 計	24 億 3,537 万円	19 億 4,090 万円



## 今後の見通し

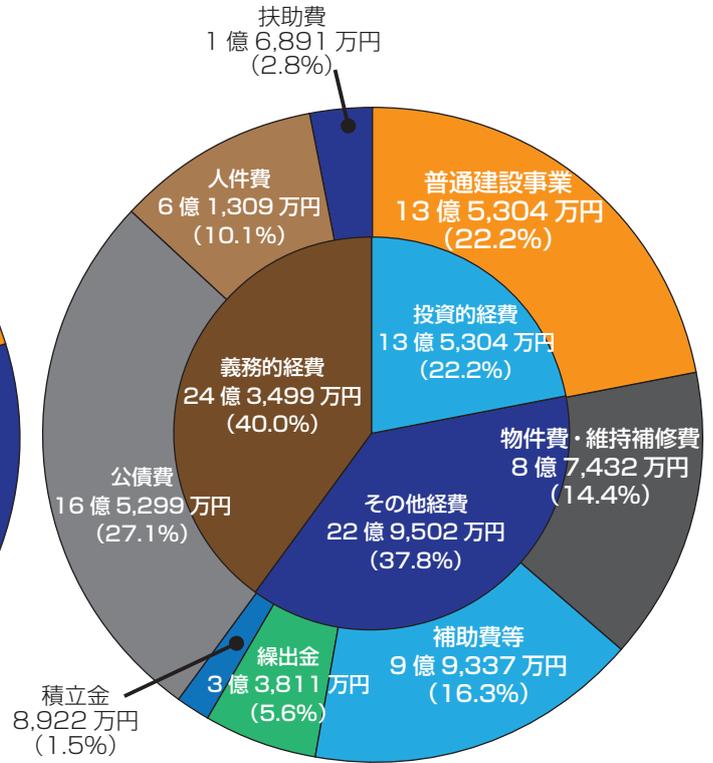
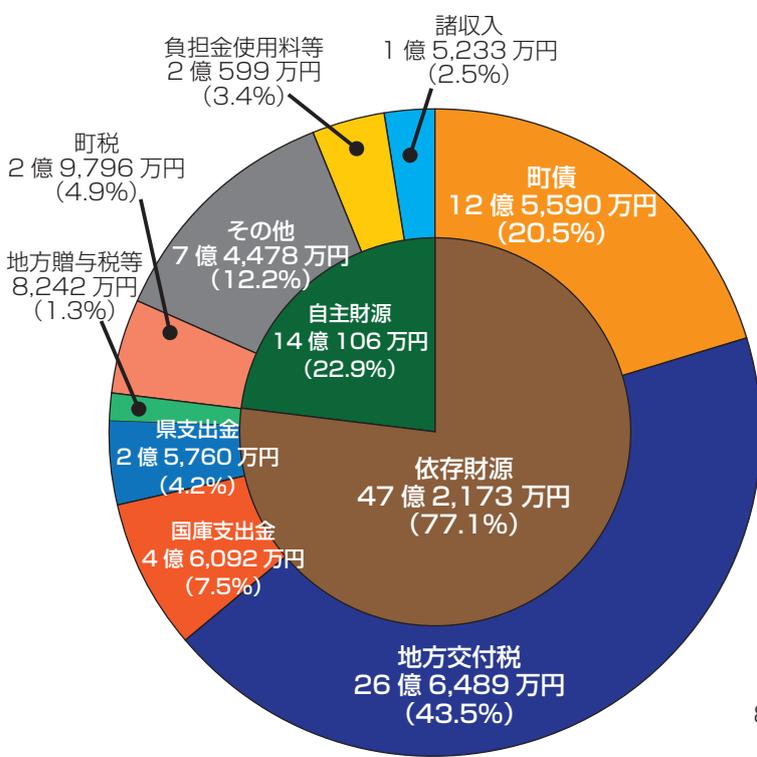
西ノ島町の財政は、これまで行ってきた行財政改革や歳出削減などにより、人件費などの義務的経費が抑えられていることや、国から交付される地方交付税が比較的堅調に推移していることから、健全な財政状況が続いています。

しかし、学校建設事業、ごみ処理施設整備事業など大型事業の元金償還が始まり公債費の増加が顕著になっています。今後、庁舎建設事業の町債借入も予定しているため、財政状況は決して楽観視できませんが、交付税措置の有利な町債の借入などにより引き続き健全な財政運営に取り組むとともに、総合戦略に掲げられた産業創出・人口減少対策などの重要施策の実現に取り組んでまいります。

# 決算報告

## 一般会計

歳入・歳出ともに大きく増加しました



一般会計歳入 61億2,279万円

一般会計歳出 60億8,305万円

- 自主財源** 町が自主的に収入できる財源。町税や使用料等。
- 依存財源** 国や県から交付されるお金や借入金。
- 地方交付税** 地方公共団体の財政状況に応じて国から交付されるお金。
- 町債** 町の借金。
- 公債費** 町債の元利償還金等。
- 義務的経費** 支出が義務付けられ任意に削減できない経費。
- 投資的経費** 道路、橋りょう、公営住宅等の社会資本の整備等に要する経費。
- 扶助費** 法令に基づき支出する各種扶助費用。児童手当、生活扶助等。
- 繰出金** 他の会計に支出するお金。

### 用語解説



## 特別会計

会計名	歳入	歳出		差引
		うち一般会計からの繰入金		
国民健康保険事業	4億6,606万円	3,653万円	4億6,580万円	26万円
後期高齢者医療保険事業	9,160万円	5,128万円	9,154万円	6万円
浦郷診療所	5,694万円	174万円	5,674万円	20万円
へき地三度出張診療所	1,285万円	639万円	1,265万円	20万円
簡易水道事業	2億4,919万円	2,851万円	2億4,898万円	21万円
下水道事業	2億9,077万円	1億4,275万円	2億8,996万円	81万円
合計	11億6,741万円	2億6,720万円	11億6,567万円	174万円